

目標1	○会社のあらゆる活動を通じて温室効果ガスCO2の排出削減を図り、地球温暖化の進行を緩和させる(2018年度対売上高比CO2排出量6.2kg-CO2/万円を5年間で45%、3.4kg-CO2/万円まで削減する、2023年に最終目標45%削減に上方修正、ISO14001プログラムを利用)																																							
主な活動	★エアコン等節電活動(目標温度:夏25℃、冬20℃、消灯) ★業務の効率化による電化製品稼働時間の短縮活動 ★アイドリングストップ、エコ運転活動 ★複数物件の同時施工による車両運行の効率化 ★温調ボイラー設備の都市ガス仕様への更新、ハイブリッド車の積極導入 ★集約分析実施活動																																							
目標と達成度	単位: kg-CO2/万円 <table border="1" data-bbox="555 539 1513 719"> <thead> <tr> <th></th> <th>基点 2018年度</th> <th>(試用期間) 2019年度</th> <th>1年目 2020年度</th> <th>2年目 2021年度</th> <th>3年目 2022年度</th> <th>4年目 2023年度</th> <th>5年目 2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>6.2</td> <td>5.9</td> <td>5.9</td> <td>5.6</td> <td>4.6</td> <td>3.7</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>5.9</td> <td>5.3</td> <td>4.8</td> <td>3.9</td> <td>3.76</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成評価</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									基点 2018年度	(試用期間) 2019年度	1年目 2020年度	2年目 2021年度	3年目 2022年度	4年目 2023年度	5年目 2024年度	目標	6.2	5.9	5.9	5.6	4.6	3.7	3.4	実績	-	5.9	5.3	4.8	3.9	3.76		達成評価	-	-	○	○	○	×	
	基点 2018年度	(試用期間) 2019年度	1年目 2020年度	2年目 2021年度	3年目 2022年度	4年目 2023年度	5年目 2024年度																																	
目標	6.2	5.9	5.9	5.6	4.6	3.7	3.4																																	
実績	-	5.9	5.3	4.8	3.9	3.76																																		
達成評価	-	-	○	○	○	×																																		
フィードバック	・エコ設備への更新、エコ車両導入の推進を追加(2021.06.07) ・当初目標削減率上方修正(2023.06.30) ・未達成(目標まであと少し)、未交換照明器具のLED化(倉庫他)及び現活動内容の推進強化(2024.6.14)																																							

目標2	○自らスキルを身につけ、働きがいのある仕事の実現や安全・安心な労働環境を促進するとともに、環境情報を積極的に外部に発信・提供する機会(売上、顧客数)を増加させ、他社や社会のSDGs推進に貢献・協力するー2018年ベースから5年間でSDGs貢献売上高を15,000万円、協力・貢献顧客数500社まで増加させる																																																																							
主な活動	★人間性も含めたスキルアップ活動(ISO9001教育訓練プログラムを利用) (専門技術力/多能工化/業務執行力/顧客対応力/営業力/経済性意識/安全衛生意識/環境保全意識の向上) ★業務受注拡大活動(分析・調査) ★SDGs理解・推進活動 ★有害物質削減分析方法への転換・工程改良活動 ★安全衛生活動(局排、表示、保護具使用等) ★環境保全提案記載成果品の作成活動(情報発信) ★海外事業支援(調査・分析協力、技術者教育)																																																																							
目標と達成度	単位: 万円 <table border="1" data-bbox="555 1447 1513 1626"> <thead> <tr> <th></th> <th>基点 2018年度</th> <th>(試用期間) 2019年度</th> <th>1年目 2020年度</th> <th>2年目 2021年度</th> <th>3年目 2022年度</th> <th>4年目 2023年度</th> <th>5年目 2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>0</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>2,000</td> <td>13,000</td> <td>14,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>3,246</td> <td>13,771</td> <td>19,508</td> <td>22,818</td> <td>26,363</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成評価</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 単位: 顧客数 <table border="1" data-bbox="555 1648 1513 1760"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>400</td> <td>410</td> <td>410</td> <td>420</td> <td>480</td> <td>490</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>392</td> <td>427</td> <td>437</td> <td>466</td> <td>484</td> <td>476</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成評価</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									基点 2018年度	(試用期間) 2019年度	1年目 2020年度	2年目 2021年度	3年目 2022年度	4年目 2023年度	5年目 2024年度	目標	0	1,000	1,000	2,000	13,000	14,000	15,000	実績	-	3,246	13,771	19,508	22,818	26,363		達成評価	-	-	○	○	○	○			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	目標	400	410	410	420	480	490	500	実績	392	427	437	466	484	476		達成評価	-	-	○	○	○	×	
	基点 2018年度	(試用期間) 2019年度	1年目 2020年度	2年目 2021年度	3年目 2022年度	4年目 2023年度	5年目 2024年度																																																																	
目標	0	1,000	1,000	2,000	13,000	14,000	15,000																																																																	
実績	-	3,246	13,771	19,508	22,818	26,363																																																																		
達成評価	-	-	○	○	○	○																																																																		
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
目標	400	410	410	420	480	490	500																																																																	
実績	392	427	437	466	484	476																																																																		
達成評価	-	-	○	○	○	×																																																																		
SDGs目標別売上高比率%	<table border="1" data-bbox="402 1780 1522 2033"> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>7.0</td> <td>2.0</td> <td>28.7</td> <td>2.1</td> <td>36.5</td> <td>4.6</td> <td>8.9</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> <td>0.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								3	4	6	7	8	9	11	12	7.0	2.0	28.7	2.1	36.5	4.6	8.9	7.3	13	14	15	17					0.0	0.5	2.0	0.3																																				
3	4	6	7	8	9	11	12																																																																	
7.0	2.0	28.7	2.1	36.5	4.6	8.9	7.3																																																																	
13	14	15	17																																																																					
0.0	0.5	2.0	0.3																																																																					
フィードバック	・2020年度は目標を大幅に達成、持続性確認のために2021年度以降も当初目標を継続とする(2021.06.07) ・当初目標を上方修正、2022年度以降の目標を上方修正(2022.06.29) ・顧客数目標達成までもう少し、再エネ・アスベスト・PFAS等新規業務の技術営業強化により、顧客数を増加させる(2024.6.14)																																																																							



11.6/12.2/12.4/13.3

発生源別

発生源/年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
電気由来 kgCO ₂ /万円	3.57	3.43	3.14	2.76	2.30	2.33
固定発生源 kgCO ₂ /万円	1.03	1.26	1.05	0.95	0.34	0.31
移動発生源 kgCO ₂ /万円	1.56	1.26	1.15	1.09	1.23	1.12
排出量計 kgCO ₂ /万円	6.16	5.95	5.34	4.80	3.87	3.76

(電気由来の主な活動)

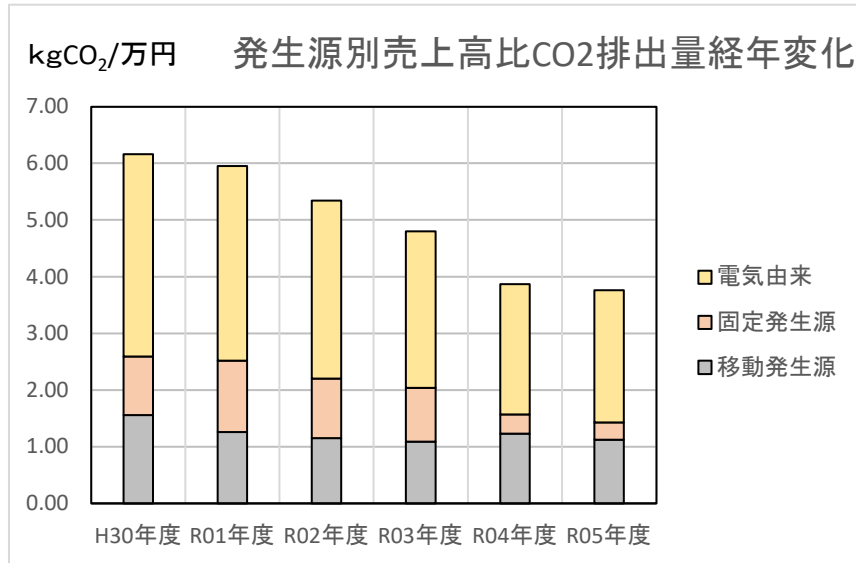
- ・売上増加対策によるエネルギー使用の効率化
- ・エアコンを省エネに配慮した設定にし節電する(目標:夏25℃、冬20℃)、使用していない空間の節電
- ・業務の効率により電化製品の稼働時間を短縮させる(労働時間、通電時間の短縮)
- ・検体を集約させて一括分析を行う、装置の待機電力の削減等を図る(労働時間の短縮、エネルギー使用量の低減)
- ・エコ設備への更新の推進

(固定発生源由来の削減活動)

- ・売上増加対策によるエネルギー使用の効率化
- ・省エネに配慮した暖房設備設定(目標:冬20℃)、使用していない空間の暖房設備の停止
- ・エコ設備への更新の推進(ボイラーのガス化、令和4年度:灯油ボイラー→LPGボイラーに更新)

(移動発生源由来の削減活動)

- ・アイドリングストップ、エコ運転を実施する(車両の燃料消費量の低減)
- ・近い場所の業務を組合せて作業や打合せ等を行うことにより、車両運行の効率化を図る(燃料消費量の低減)
- ・エコ車の導入推進(営業車のハイブリッド化)



個別業務におけるSDGs目標、ターゲット別の目標達成業務売上、物件数集計表

2023(令和05)年度

目標	ターゲット(概略表示)	業務・取り組み紐づけ	売上割合 (%)	顧客数割合 (%)
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	3.6 世界の道路交通事故による死傷者を減少させる	安全運転、エコ運転	7.0	4.2
	3.9 有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病を大幅に減少させる	測定分析系サービス		
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	4.4 働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者の割合を増加させる	「働き方改革」、品質ISO教育訓練(スキルアップ施策)	2.0	0.8
	4.a 脆弱層に配慮した教育施設を構築し、安全で効果的な学習環境を提供できるようにする	若手育成		
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	6.1 安全で安価な飲料水の普遍的かつ衡平なアクセスを達成する	水質分析系サービス	28.7	25.4
	6.2 適切な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成させる			
	6.3 有害物質放出や未処理排水の最小化及び安全な再生利用の増加により水質を改善する。			
	6.6 山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う	自然環境系技術サービス		
 <p>7 経済活動に必要で、かつ環境にやさしいエネルギーを世界に</p>	7.2 世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を拡大させる	環境管理活動、再生エネルギー事業調査協力	2.1	0.8
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	8.5 完全かつ生産的な雇用、働きがいのある人間らしい仕事、同一労働同一賃金を達成する	「働き方改革」	36.5	36.5
	8.8 全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する	労働安全衛生活動、安全衛生関連測定分析系サービス		
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	9.1 地域・越境インフラの質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱なインフラを開発する	地質・測量系サービス	4.6	1.1
	9.4 環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により、持続可能性を向上させる	化学物質使用量削減活動		
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	11.3 持続可能な都市化を促進し、持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する	測定分析系サービス	8.9	7.1
	11.6 大気及び廃棄物の管理に注意を払い、環境上の悪影響を軽減する			
	11.7 人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへのアクセスを提供する			
	11.b 総合的政策及び計画を導入した人間居住地を増加させ、災害リスク管理の策定と実施を行う			
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	12.2 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する	環境管理活動	7.3	22.6
	12.3 食料廃棄、収穫後損失など生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる	食べ残し削減活動		
	12.4 適正な化学物質や廃棄物管理を実現し、大気、水、土壌への放出を大幅に削減する	測定分析系サービス		
	12.5 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	環境管理活動		
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	13.1 気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び適応の能力を強化する	気象雪況防災系サービス	0.0	0.0
	13.3 気候変動緩和、適応、影響軽減などに関する教育、啓発、人的能力、制度機能を改善する	環境管理活動		
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	14.1 海洋ごみや富栄養化、陸上活動の汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、削減する	測定分析系サービス	0.5	0.4
	14.2 持続的な管理と保護を行い、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う	自然環境系技術サービス		
 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	15.1 陸域生態系と内陸淡水生態系の保全、回復及び持続可能な利用を確保する	自然環境系技術サービス	2.0	1.0
	15.4 山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実にを行う			
	15.5 自然生息地劣化抑制、生物多様性損失阻止、絶滅危惧種保護のための対策を講じる			
	15.8 外来種の侵入防止、陸域・海洋生態系への影響を減少させる対策、駆除または根絶を行う			
 <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	17.7 途上国に対し、環境に配慮した技術の開発、移転、普及及び拡散を促進する	海外事業	0.3	0.2
	17.16 持続可能な開発目標達成支援のため、技術などのグローバル・パートナーシップを強化する	海外事業、ベトナム現地法人調査協力		